Roland

取扱説明書

PERSONAL MONITOR

PM-100
PM-200

PM-100

PM-200

V-Drums 専用パーソナル・モニター

PM-100 ／ PM-200 は、Roland「V-Drums」のドラム音源にマッチしたパワード・モニターです。V-Drums 専用の入力端子を装備し、「V-Drums」の音を余すところなく表現します。

- **ハイ・クオリティーでパワフルなサウンド**
  新開発の 2 ウェイ・スピーカーをバイ・アンプ方式で駆動。パワフルでクリアなサウンドを実現しました。
- **多機能入力**
  LINE INPUT を装備。ドラム音源以外にも、オーディオ・プレーヤーや電子楽器などを接続して鳴らすことができます。
- **可搬性に優れたボディー**
  持ち運びに便利な、ハンドル・バーを装備しています。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.2）と「使用上のご注意」（P.3）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2017 ローランド株式会社

English
日本語
Deutsch
Français
Italiano
Español
Português
Nederlands

安全上のご注意

マークについて

本機に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意

感電の恐れがあります。
キャビネットをあけないでください。

注意： 感電防止のため、パネルやカバーをはずさないでください。本機の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに依頼してください。

このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

⚠	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
⃠	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
●	● は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、● の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を必ず守ってください

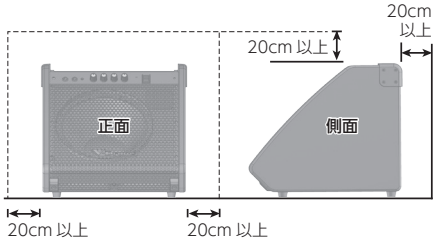
⚠ 警告

完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は主電源から完全に遮断されてはいません。完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、本機にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

スペースを確保して設置する

本機は多少発熱するため、下記のスペースを確保して使用してください。



分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。

個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

⚠ 警告

次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所
- 風通しの悪い場所

不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。

電源プラグは AC100V の電源コンセントに差し込む

電源プラグは、必ず交流（AC）100V の電源コンセントに差し込んでください。

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源コードを傷つけない

火災や感電の原因になります。

大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

⚠ 警告

異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。

異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。

- 電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

落としたり、強い衝撃を与えたりしない

破損や故障の原因になります。

タコ足配線はしない

発熱、発火する恐れがあります。

海外でそのまま使用しない

海外で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。

⚠ 警告

電源コードのアースを確実に取り付ける

電源コードのアースを確実に取り付けてください。感電の恐れがあります（P.5）。

通気口を塞がない

新聞紙、テーブル・クロス、またはカーテンなどで、本機の通気口を塞がないでください。

火の付いているものを置かない

本機の上に火の付いているもの（ローソクなど）を置かないでください。

⚠ 注意

電源コードはプラグを持って抜く

断線を防ぐため、必ずプラグを持って電源コードを抜いてください。

電源プラグを定期的に掃除する

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、火災や感電の原因になります。

定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因になります。

電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

上に乗ったり、重いものを置いたりしない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。

⚠ 注意

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部機器との接続をはずしてください。

お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと感電の原因になります。

落雷の恐れがあるときは電源プラグをコンセントから抜く

コンセントから抜いておかないと故障や感電の原因になります。

やけどしないように注意する

フロント・パネルとリア・パネルは高温になりますので、やけどしないよう注意してください。

使用上のご注意

電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズで本機が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

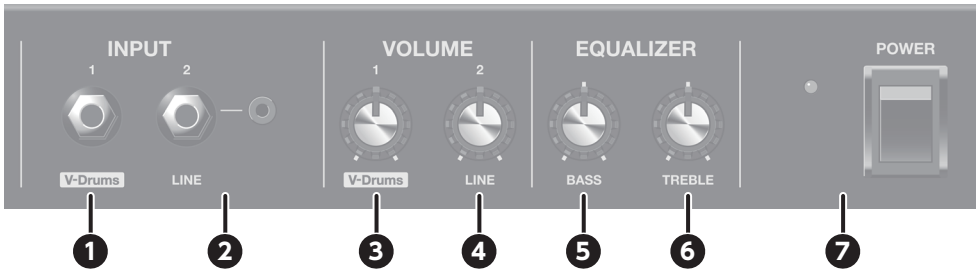
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 本機は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

フロント・パネル



❶ V-Drums INPUT 端子

ドラム音源を接続します。

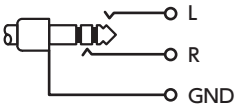
❷ LINE INPUT 端子

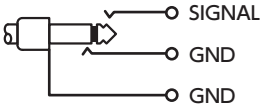
オーディオ・プレーヤーや電子楽器などを接続し、ドラムと同時に鳴らすことができます。

ステレオ標準とステレオ・ミニの 2 つの端子があり、同時に使用することができます。

INPUT 端子（V-Drums、LINE）のピン配置

モノ／ステレオの両方に対応しています。





※ ステレオのプラグを接続する場合でも、スピーカーの出力はモノになります。

❸ [V-Drums VOLUME] つまみ

V-Drums INPUT 端子に接続した機器の音量を調節します。

❹ [LINE VOLUME] つまみ

LINE INPUT 端子に接続した機器の音量を調節します。

❺ [BASS] つまみ

低域の音量を調節します。

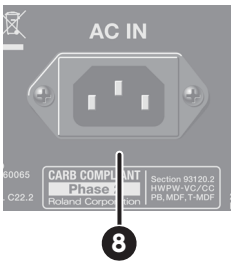
❻ [TREBLE] つまみ

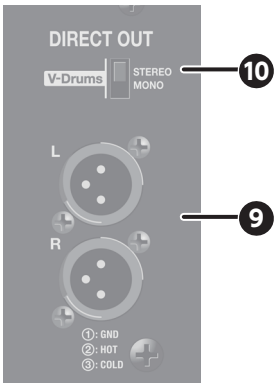
高域の音量を調節します。

❼ [POWER] スイッチ／ POWER インジケーター

電源をオン／オフします。オンにするとPOWERインジケーターが点灯します。

リア・パネル





❽ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。はずれないように確実に装着してください。

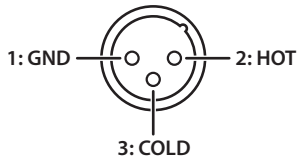
DIRECT OUT（PM-200 のみ）

❾ DIRECT OUT L、R 端子

PA システムやレコーダーなどの機器を接続します。

INPUT 端子（V-Drums、LINE）に入力した信号が、そのまま出力されます。

DIRECT OUT 端子のピン配置



❿ [DIRECT OUT] スイッチ

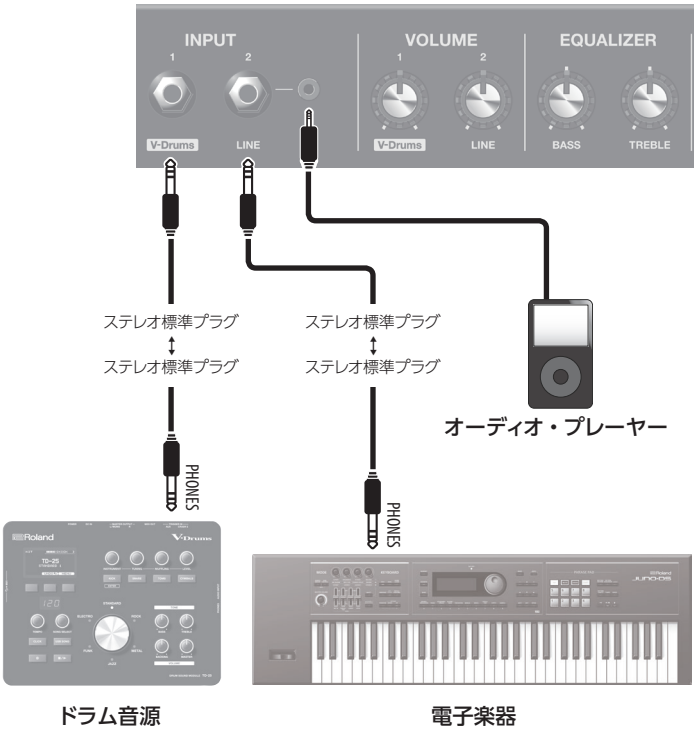
V-Drums INPUT 端子に入力した信号を DIRECT OUT 端子から出力するときに、ステレオにするかモノにするかを選びます。

※ このスイッチは、LINE INPUT 端子に入力された信号には効きません。

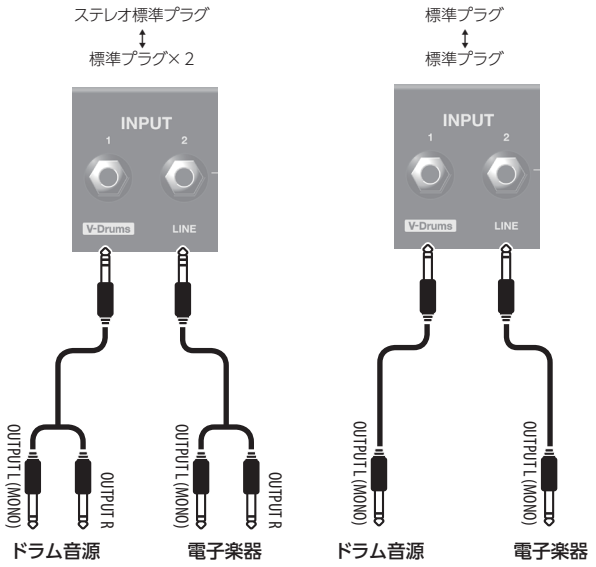
	入力がステレオのとき	入力がモノのとき
STEREO	ステレオ出力	L チャンネルのみ信号（モノ）を出力
MONO	L、R チャンネルから同じ信号（モノ）を出力	

接続

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



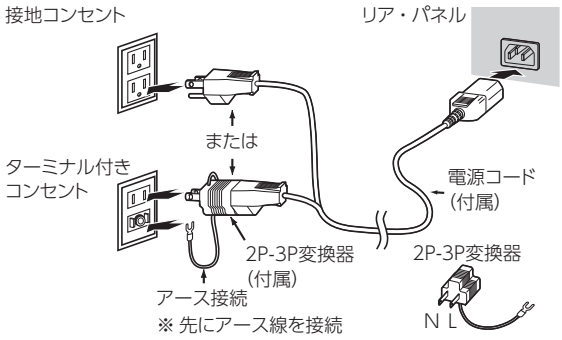
INPUT 端子と各機器は、以下のように接続することもできます。



電源コードを接続する

感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた3端子のプラグが付いています。



コンセントが接地コンセント(端子穴が3個)の場合

そのままコンセントにプラグを差し込んでください。

コンセントがアース・ターミナル付きコンセント(端子穴が2個)の場合

プラグに2P-3P変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。

※ アースは、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。

※ アースは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからはずしてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店に接地工事を依頼してください。

電源を入れる／切る

※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. 本機と各接続機器の音量つまみが、すべて最小になっていることを確認します。

2. INPUT 端子（V-Drums、LINE）に接続した機器の電源を入れます。

3. 本機の電源を入れます。

4. DIRECT OUT 端子に接続した機器の電源を入れます。(PM-200 のみ)

5. 各機器の音量を調節します。

※ 本機は、出力レベルの低いドラム音源にも対応できるように入力感度を高めに設定しています。そのため、出力レベルの高いドラム音源（TD シリーズ）を接続した場合、音量を上げ過ぎると音が歪むことがあります。

電源を切る

6. 各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、本機の電源スイッチを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。
詳しくは**「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜く」**（P.2）をお読みください。

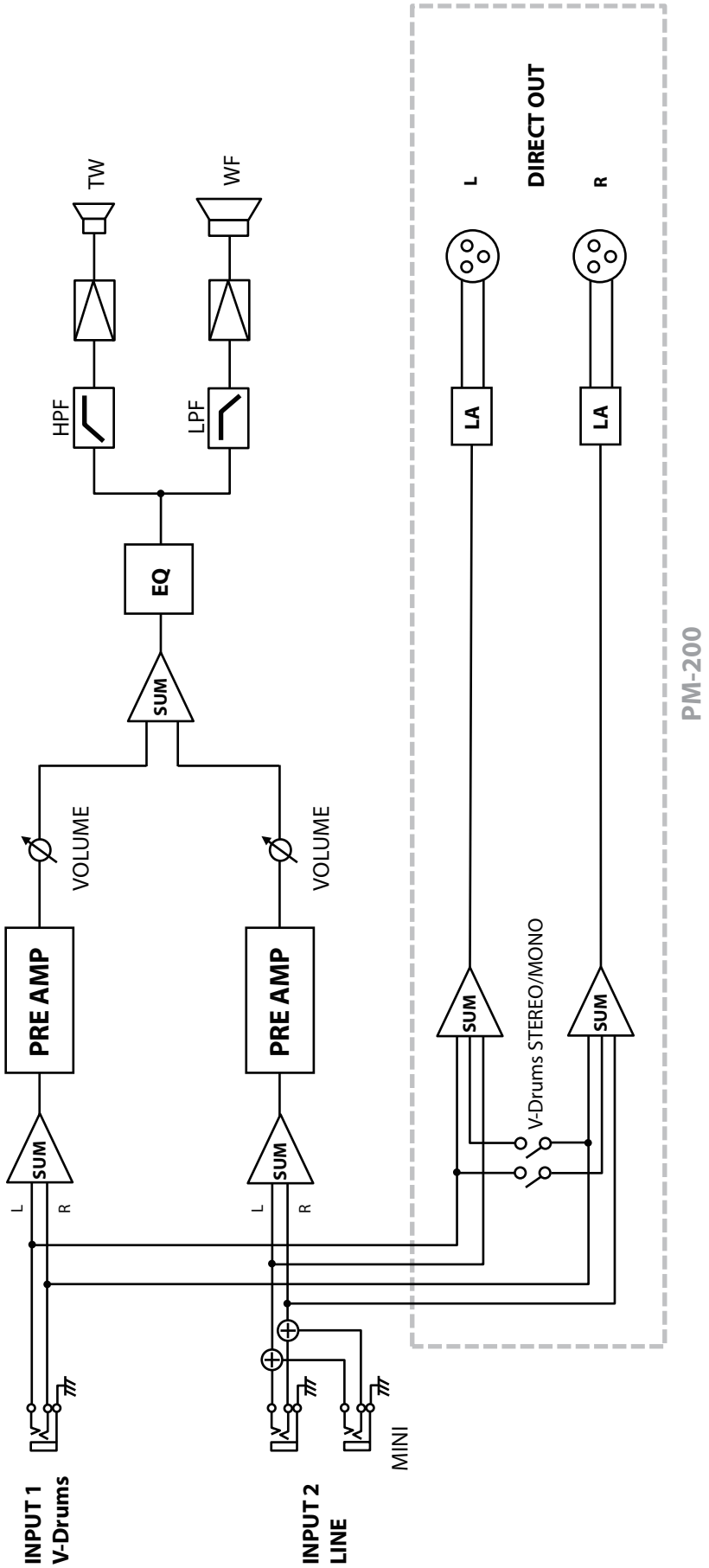
主な仕様

ローランド PM-100、PM-200：パーソナル・モニター

	PM-100	PM-200
定格出力	80W	180W
規定入力レベル	V-Drums INPUT： -6dBu（10k Ω） LINE INPUT： -6dBu（10k Ω）	
スピーカー	25cm ウーファー× 1、5cm ツィーター× 1	30cm ウーファー× 1、ホーン・ツィーター× 1
コントロール	POWER スイッチ V-Drums VOLUME つまみ LINE INPUT VOLUME つまみ BASS つまみ TREBLE つまみ	POWER スイッチ V-Drums VOLUME つまみ LINE INPUT VOLUME つまみ BASS つまみ TREBLE つまみ DIRECT OUT スイッチ
インジケーター	POWER	
接続端子	V-Drums INPUT 端子: ステレオ標準タイプ LINE INPUT 端子： ステレオ標準タイプ、ステレオ・ミニ・タイプ AC IN 端子	V-Drums INPUT 端子： ステレオ標準タイプ LINE INPUT 端子： ステレオ標準タイプ、ステレオ・ミニ・タイプ DIRECT OUT 端子： XLR タイプ AC IN 端子
電源	AC100V（50 ／ 60Hz）	
消費電力	36W	64W
外形寸法	388（幅）× 407（奥行）× 354（高さ）mm	458（幅）× 469（奥行）× 420（高さ）mm
質量	13.5kg	21.0kg
付属品	取扱説明書 電源コード 2P-3P 変換器 保証書 ローランド ユーザー登録カード	
別売品	接続ケーブル：PCS-31L、RIC-G3、RIC-B3、RCC-3-TRTR、RCC-5-3535、RCC-5-TR28	

※ 0dBu = 0.775Vrms
※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ブロック・ダイヤグラム


INPUT 1
V-Drums
INPUT 2
LINE
MINI
L
R
SUM
PRE AMP
VOLUME
EQ
HPF
LPF
TW
WF
V-Drums STEREO/MONO
LA
DIRECT OUT
PM-200

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間：　月曜日～金曜日　10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　**https://www.roland.com/jp/**

ボス・ホームページ　**https://www.boss.info/jp/**

'16. 10. 01 現在（Roland）

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1